

小泉和子が語る家具の歴史 2018

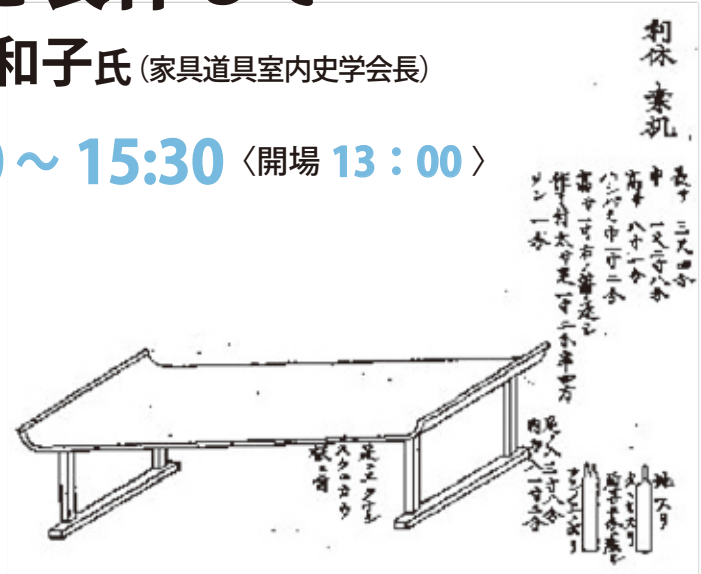
「至高の美—利休桑机を製作して」

須田賢司氏 (木工藝家・人間国宝) × 小泉和子氏 (家具道具室内史学会会長)

7月14日(土) 13:30 ~ 15:30 (開場 13:00)

茶湯で利休桑机と呼ばれる文机があります。実物を調査した小泉和子氏が「桑の拭漆、筆返のある天板に角脚という単純明快な形の緊張感に満ちた美しい机である」というこの文机を、木工藝家で重要無形文化財「木工芸」保持者の須田賢司氏が復元しました。本講座では完成した利休桑机を前に須田賢司氏と小泉和子氏が対談を行います。

今秋には群馬県甘楽町にある須田賢司氏の工房併設ギャラリー「木工藝ギャラリー清雅 -SEIGA-」の見学会も企画中です。あわせてご参加ください。



講師 須田賢司氏



重要無形文化財「木工芸」保持者。公益社団法人日本工芸会理事。昭和29(1954)年、祖父・須田桑月から続く木匠家に生まれ、父・須田桑翠に師事し木工技法を習得。平成22(2010)年紫綬褒章受賞、平成26(2014)年重要無形文化財「木工芸」保持者(人間国宝)に認定。現在、群馬県甘楽町に工房を構える。ニュージーランドやスウェーデン、デンマークでのワークショップ等、海外文化交流にも力を注ぐ。著書に『木工藝—清雅を標に』(里文出版)。

講師 小泉和子氏



家具道具室内史学会会長・昭和のくらし博物館館長・(株)小泉和子生活史研究所代表。昭和8(1933)年東京都生まれ、家具・道具・室内を中心として生活史を研究、全国各地の重要文化財建造物の家具・インテリアの復元および博物館・資料館の展示・企画などを行う。工学博士・元京都女子大学教授。著書に『室内と家具の歴史』(中央公論社)、『筆筥』(法政大学出版局)、『家具』(東京堂出版)、『イギリスの家具』(訳/西村書店)、『別冊太陽和家具』(平凡社)、『昭和のくらし博物館』(河出書房新社)他。

日時：7月14日(土) 13:30 ~ 15:30 (開場 13:00)

会場：鶴ノ木八幡神社社務所

東京都大田区南久が原2丁目24-1 (地図の★印)

開場前は昭和のくらし博物館※徒歩3分で受付します。

(東急池上線久が原駅または多摩川線下丸子駅より徒歩8分)

参加費：会員※1,000円 会員外1,500円

(受講者は昭和のくらし博物館の入館無料)

※家具道具室内史学会会員と昭和のくらし博物館会員が対象です。

定員：40名 (要予約・定員に達し次第メ切)

懇親会：15:30 ~ / 希望者のみ・先着順 / 会費1,000円(予定)

お申込み方法：

① 家具道具室内史学会事務局までメール、または電話で下記をご連絡ください

受講希望者名(全員)・ご連絡先(お電話番号)・懇親会の出欠

お申込先 / 家具道具室内史学会事務局

メール mail@jpshift2008.org

電話 090-8517-4820 (火~金/9~18時)

② ご予約後、受講日の3日前までに下記口座に受講料をお振込みください。

懇親会参加費は当日払いとなります。

お振込み後にキャンセルされた場合は返金致しませんことをご了承ください

●郵便振替

記号番号 / 00130-6-762738

名義 / 家具道具室内史学会

通信欄 / 家具講座受講料・人数をご記入ください

●銀行振込

ゆうちょ銀行 / ○一九 (ゼロイチキユウ) 店

当座 / 762738

名義 / 家具道具室内史学会

※講座内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

最新情報は家具道具室内史学会ホームページ (<http://www.jpshift2008.org>) をご覧ください。



主催団体のご案内

家具道具室内史学会 <http://www.jpshift2008.org>

家具・室内意匠と生活道具の歴史を研究することを目的とする学会です。

昭和のくらし博物館 <http://www.showanokurashi.com/>

登録文化財旧小泉家住宅。昭和26年建築の木造2階建の庶民住宅と家財道具を保存し丸ごと公開している博物館。昭和30年前後のくらしの常設展示・企画展・特別展の他、くらしを考える講座を随時開催しています。